

再配信（一部変更あり）

※＜変更箇所＞副知事表敬の場所

※＜変更箇所＞市川氏の国名/配属先

【茨城県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2022年度4次隊 茨城県各自治体への表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、4月～5月に茨城県から4名のJICA海外協力隊員を2022年度4次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり茨城県副知事及び市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、茨城県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸甚です。

1. 表敬訪問日程

表敬先	日時・場所	表敬者（敬称略）
茨城県 副知事 横山 征成	2023年3月16日（木） 11:30～12:00 知事第二応接室	同県 JICA 海外協力隊員 4名 市川 信男、倉田 桃子、 古藤 麻子、馬場 隼也
水戸市 市長 高橋 靖	2023年3月27日（月） 13:00～13:30 応接室	市川 信男
常陸大宮市 市長 鈴木 定幸	2023年3月20日（月） 16:00～16:30 市長室	倉田 桃子
筑西市 市長 須藤 茂	2023年3月15日（水） 13:30～14:00 市長応接室	古藤 麻子
守谷市 市長 松丸 修久	2023年3月13日（月） 14:00～14:30 応接室	馬場 隼也

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	いしかわ のぶお 市川 信男	自動車整備	ニカラグア	ニカラグア国立工科大学(UNI)

【活動内容と抱負】

異文化社会で生活を共にすることで、成長し、新しい自分になれるとも考えています。任地の方々と良いコミュニケーションをとり、自動車整備の事以外でも、「来てくれて良かった」「参加して良かった」と、感謝される活動を目標にしたいです。沢山の困難があると思いますが、うまく対処し、無事にやり遂げ帰国し、任国との架け橋になり、日本の地域・社会に還元したいです。

青年海外協力隊	くらた とうこ 倉田 桃子	青少年活動	スリランカ	国家青年活動評議会 (ミリガマ・トレーニングセンター)
【活動内容と抱負】 私の配属先はスリランカのガンパハにある国家青年活動評議会（ミリガマ・トレーニングセンター）で、青少年の職業訓練が行われており、隊員にはクリエイティブな情操教育の実施や日本語指導が期待されています。マクドナルドでの経験や学生時代に所属した合唱団での経験を活かして、青少年の訓練のサポートや、規律や協調性といった社会性の育成に貢献したいと思います。				
青年海外協力隊	ことう まこ 古藤 麻子	学校保健	ガーナ	ガーナ教育サービス アダ・ウェスト郡事務所
【活動内容と抱負】 私にとってのボランティア活動の意義は、「相互理解を通してお互いに最大限の力を高めあうこと」です。相手の最大限の力（知識・技術）を引き出すようアプローチするとともに、立場の異なる人同士がともに活動する中で得られた学びが、自身の最大限の力（知識・技術）を高めることにつながると考えます。現地の人々と最大限の力を高めあうことができるよう、これまでの経験を最大限に活かして活動に取り組んでまいります。				
青年海外協力隊	ばば じゅんや 馬場 隼也	病虫害対策	ボリビア	プロインパ財団
【活動内容と抱負】 活動内容は、現地の有用微生物を利用した植物の病虫害対策です。そして、できるだけ農薬に頼らない持続的な農業のための栽培技術の確立を目指します。また、微生物叢の解析など分子生物学実験を主とした科学技術の指導も含まれています。2年という短い期間ではありますが専門知識を生かして、必ず成果を出して来たいと思います。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 国内協力員 河津 邦宣
TEL : 029-838-1117
E-mail : Kawazu-Kuninobu3@jica.go.jp